

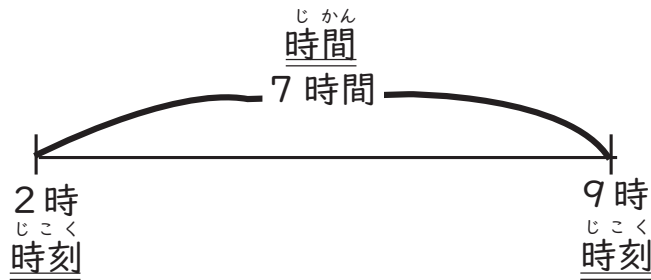
# 日歴算 (時間と時刻)

## ① 時間と時刻

① 「時刻」と「時間」は、どう違うのか。

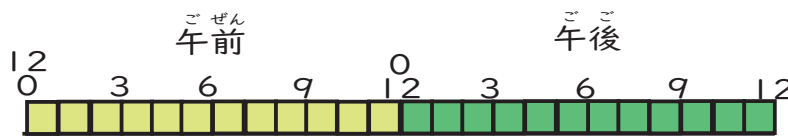
時間…時刻と時刻の間の長さ。(例) 7時間

時刻…時の瞬間を表すもの。(例) 2時、10時



② 時刻の表し方

(1) 24時制…12時制のように午前・午後を区別しないで時刻を表す方法。(時刻表などによく使われる。)



(2) 12時制…1日を正午(お昼の12時)を境にして

12時間ずつに分け、正午より前に”午前”、正午より後に”午後”をつけて表す方法

(注) 12時制で間違いやすい時刻

<p>まちがひょうげん 間違った表現</p> <p><del>午前12時</del></p> <p><del>午後12時</del></p>	<p>→</p> <p>→</p>	<p>ただひょうげん 正しい表現</p> <p>午後0時</p> <p>午前0時</p>
--	-------------------	--

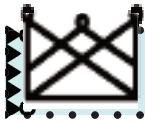


中学受験プリントダウンロード

受験テキスト

©受験テキスト





にちれきざん

# 日歴算 (時こくと時計)

## ③ 12 時制 ↔ 24 時制

(1) 24 時制 → 12 時制

・ 12 時より前…… 「午前」 をつける

(例) 11 時 → 午前 11 時

・ 12 時以降…… 12 時間引いて、「午後」 をつける。

(例) 23 時 → 11 時 (23 - 12 = 11)

(2) 12 時制 → 24 時制

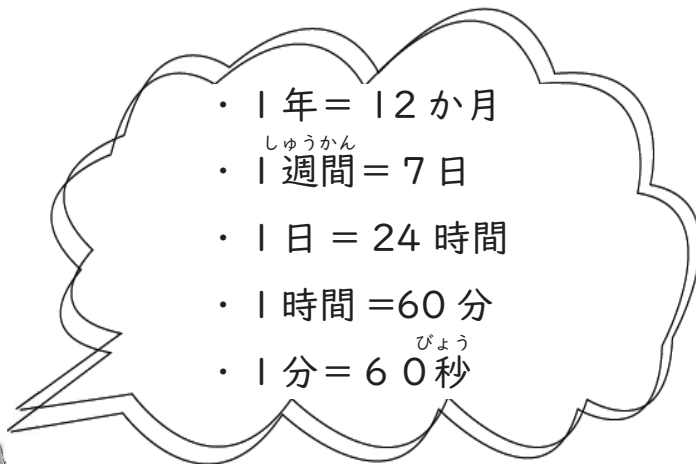
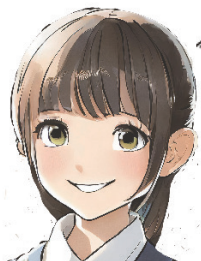
・ 午前… 「午前」 をとる。

(例) 午前 7 時 → 7 時

・ 午後… 「午後」 を取って 12 時間たす。

(例) 午後 8 時 → 20 時 (8 + 12 = 20)

## ④ 時間の単位



・ 1 年 = 12 か月

・ 1 週間 = 7 日

・ 1 日 = 24 時間

・ 1 時間 = 60 分

・ 1 分 = 60 秒

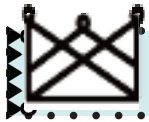


中学受験プリントダウンロード

受験テキスト

© 受験テキスト





# 日歴算 (時間のかけ算、わり算)



## ① 時間のかけ算

(例) 1分45秒<sup>びょう</sup> × 6 = 10分30秒<sup>びょう</sup>

1分45秒<sup>びょう</sup> × 6 = 6分270秒<sup>びょう</sup> ←  
たんにまず単位ごとに計算する

270秒<sup>びょう</sup> = 4分30秒<sup>びょう</sup>だから

6分270秒<sup>びょう</sup> = 6分 + 4分30秒<sup>びょう</sup>  
 = 10分30秒<sup>びょう</sup>



## ② 時間のわり算

(例) 10時間51分 ÷ 7 = 1時間…3時間51分

10時間51分 ÷ 7 = 1時間…3時間51分 ←  
大きい単位の方から順に計算する

3時間51分 = 237分だから

237分 ÷ 7 = 33分

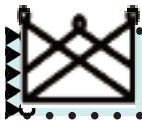
よって 10時間51分 ÷ 7 = 1時間33分

(例) 4時間12分 ÷ 36分 = 7

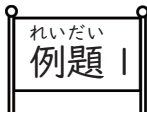
4時間12分 ÷ 36 = 252分 ÷ 36分  
 = 7 ←

わる数とわられる数の単位が  
 どちらも分なので単位はいらない





# 日歴算（時間のかけ算、わり算）



例題

つぎ

次の計算をしなさい。

① 2時間5分×4

② 3分15秒×9

③ 45分54秒÷9

④ 16時間12分÷12

⑤ 4時間30分÷6

⑥ 14時間÷20分

こたえ

例題

$$\begin{aligned} & \textcircled{1} \text{ 2時間5分} \times 4 \\ & \text{2時間5分} \times 4 \\ & = \text{8時間20分} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \textcircled{2} \text{ 3分15秒} \times 9 \\ & \text{3分15秒} \times 9 \\ & = \text{27分} \overset{135}{\text{秒}} \\ & = \text{29分} \overset{15}{\text{秒}} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \textcircled{3} \text{ 45分54秒} \div 9 \\ & \text{45分54秒} \div 9 \\ & = \text{5分6秒} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \textcircled{4} \text{ 16時間12分} \div 12 \\ & \text{16時間12分} \div 12 \\ & = \text{1時間} + \text{4時間12分} \div 12 \\ & = \text{1時間} + \text{252分} \div 12 \\ & = \text{1時間21分} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \textcircled{5} \text{ 4時間30分} \div 6 \\ & \text{4時間30分} \div 6 \\ & = \text{4時間30分} \div 6 \\ & = \text{270分} \div 6 \\ & = \text{45分} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \textcircled{6} \text{ 14時間} \div \text{20分} \\ & \text{14時間} \div \text{20分} \\ & = \text{840分} \div \text{20分} \\ & = \text{42} \end{aligned}$$



中学受験プリントダウンロード

受験テキスト

© 受験テキスト



# 大の月 小の月

## ① 大の月

(1か月が31日ある月)

1月 3月 5月 7月 8月 10月 12月

## ② 小の月

(1か月が30日、あるいは28日か29日の月)

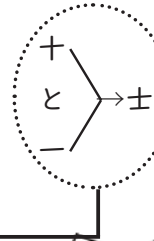
2月 4月 6月 9月 11月

### 小の月のおぼえ方

2、4、6、9、11

ニ シ ム ク 士

(西 向く 土)



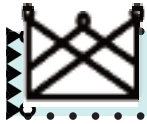
大の月は小の月以外いがいの月だから  
小の月だけおぼ覚えておけばよい。

### 例題 2

平年のとき、それぞれの月が何日まであるか表に書きなさい。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日数	a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.	h.	i.	j.	k.	l.





# 日歴算 (平年とうるう年)

## ① 平年とうるう年 (グレゴリオ歴)

平年・・・1年の日数が365日 (2月は28日) の年

うるう年・・・1年の日数が366日 (2月は29日) の年

うるう年の見分け方を覚えてね。

① 下2けたが「00」の年

……400でわりきれぬ → 「うるう年」

② 下2けたが「00以外」の年

……下2けたが4でわりきれぬ → 「うるう年」

↑ (4の倍数判定法)

(①、②とも、わりきれぬ年は「平年」)



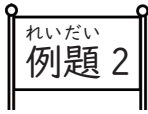
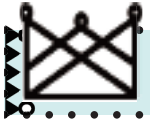
## グレゴリオ歴とは

グレゴリオ歴の1年は365日としますが、400年間に97回の間(うるう)年を置いて、その年を366日とします。そのことにより400年間の1年の平均日数はこうなります。

$$365 \text{ 日} + 97/400 (= 0.2425) = 365.2425 \text{ 日}$$

この平均日数は、実際に地球が太陽の周りを1周する平均日数である平均太陽年(およそ365.242189日)と比べて26.821秒だけ長いです。





例題 2

つぎの年のうち、うるう年はどれですか。  
すべて選びましょう。

700年、962年、1200年  
1764年、1919年、2024年

こたえ

例題 2

しも

下2けたが「〇〇」の年 → 400 で割る。

700年  $700 \div 400 = 1 \dots 300 \rightarrow$  平年

1200年  $1200 \div 400 = 3 \dots$  うるう年

しも

下2けたが「〇〇」でない年 → 下二桁を4で割る。

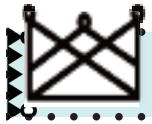
962年  $962 \div 4 = 15 \dots 2 \rightarrow$  平年

1764年  $64 \div 4 = 16 \rightarrow$  うるう年

2024年  $24 \div 4 = 6 \rightarrow$  うるう年

答え 1200年、1764年、2024年





# にちれきざん 日 歴 算

右の図は、ある年の5月のカレンダーです。

今日は5月14日です。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



3日後は5月何日かな？



10日後は5月何日かな？



4日前は5月何日かな？



8日前は5月何日かな？



今日から数えて5日目は  
5月何日かな？



今日から数えて14日目は  
5月何日かな？

ア.

\_\_\_日



イ.

\_\_\_日



ウ.

\_\_\_日



エ.

\_\_\_日



オ.

\_\_\_日



カ.

\_\_\_日



中学受験プリントダウンロード

受験テキスト

© 受験テキスト





# にちれきざん 日歴算 (日数の計算)



## 日数の計算

はじめの日を入れるのか入れないのか、最後の日を入れるのか入れないのかなど、しっかり確認しながら計算する。  
 (例) 6日から3日後←はじめの日は入れない。

6日      7日      8日      9日  
                  1日後      2日後      3日後

つまり 6日 + 3日 = 9日

(例) 12日から4日前←はじめの日は入れない。

8日      9日      10日      11日      12日  
                  4日前      3日前      2日前      1日前

つまり 12日 - 4日 = 8日

(例) 15日から5日目←はじめの日を入れる。

15日      16日      17日      18日      19日  
                  1日目      2日目      3日目      4日目      5日目

15日を1日目として数えるから

「15日から5日目」を言い換えると、

「15日から4日後」と同じ。

つまり 15日 + (5日 - 1日) = 19日

(例) 4日から7日まで ←はじめの日も最後の日も入れる

4日      5日      6日      7日  
                  1日目      2日目      3日目      4日目

何日間か求めるので7日 - 4日は×

4日は1日として数えるから

7日 - 4日 + 1日 = 4日間

(7日 - 4日) で引いてしまった4日の分を +1する。

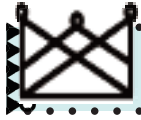



中学受験プリントダウンロード

受験テキスト

© 受験テキスト





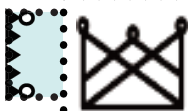
 月をまたぐ日歴算

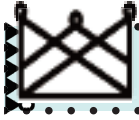
(例) 5月30日の69日<sup>まえ</sup>前の日付を求めよう。

5月30日の69日<sup>まえ</sup>前を4月や3月のカレンダー<sup>あらか</sup>で表すと、  
5月30日 → 4月60日 → 3月91日 となります。  
(4月は30日まで) (3月は31日まで)

すると、この<sup>もんだい</sup>問題は

「3月91日(5月30日のこと)の69日<sup>まえ</sup>前」となり  
 $91日 - 69日 = 22日$ よって 3月22日になります。





れいだい  
例題 3

つぎの問いに答えなさい。

① 4月15日から3日前、3日後、3日目をそれぞれ求めなさい。

3日前

3日後

3日目

② 4月15日から30日前、30日後、30日目をそれぞれ求めなさい。

3日前

3日後

3日目

こたえ

例題 3

①  $15 \text{ 日} - 3 \text{ 日} = 12 \text{ 日}$

$15 \text{ 日} + 3 \text{ 日} = 18 \text{ 日}$

$15 \text{ 日} + (3 \text{ 日} - 1 \text{ 日}) = 17 \text{ 日}$

3日前

4月12日

3日後

4月18日

3日目

4月17日

②  $4/15 \rightarrow 3/16 \quad 46 \text{ 日} - 30 \text{ 日} = 16 \text{ 日}$

$15 \text{ 日} + 30 \text{ 日} = 45 \text{ 日} \quad 4/45 \rightarrow 5/15$

$15 \text{ 日} + (30 \text{ 日} - 1) = 44 \text{ 日} \quad 4/44 \rightarrow 5/14$

3日前

3月16日

3日後

5月15日

3日目

5月14日





れいだい  
例題 4

つぎの日を求めなさい。

2025年1月1日の365日後

れいだい  
例題 5

つぎの日数を求めなさい。

- ① 5月13日から5月18日まで
- ② 5月13日から6月17日まで



こたえ

例題 4

2025年は  $25 \div 4 = 6 \cdots 1$  で(うるう年でない)から1年 = 365日です。

365日後 = 1年後ということになるから、

2026年1月1日

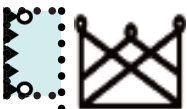
例題 5

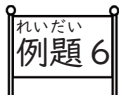
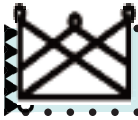
①  $18 - 13 + 1 = 6$  日間

② 6月17日を5月のカレンダーであらわすと、

$6/17 \rightarrow 5/48$  となる。  
(5月は31日まで)

$48 - 13 + 1 = 36$  日間





例題 6

つぎの日数を求めなさい。

2024年1月1日から2025年1月1日まで

こたえ

例題 6

2024年は $24 \div 4 = 6 \rightarrow$ うるう年だから

2024年は366日ある。

2024年

2025年

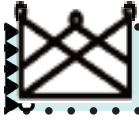
1/1, 1/2 1/3 ..... 12/30, 12/31, 1/1

366日

1日

$366 \text{ 日} + 1 \text{ 日} = 367 \text{ 日}$





問題1

つぎの  にあてはまる数を求めなさい。

① 30 分 =  時間

② 24 秒 =  分

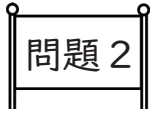
③  $\frac{1}{3}$  時間 =  分

④ 4 時間 48 分 =  時間

⑤ 0.7 時間 =  分

⑥ 2.2 分 =  秒



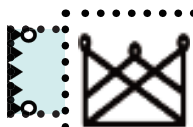


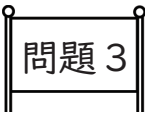
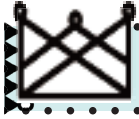
問題2 つぎの問いに答えなさい。

① 3月1日の100日後

② 5月7日の50日前

③ 3月1日から200日目





問題3 つぎの問いに答えなさい。

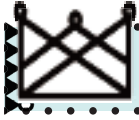
① Aさんは毎日3時間50分勉強します。1週間で何時間何分勉強することになりますか。

② 2025年2月にAさんはピアノ教室で週に2回1時間40分ピアノを弾き、毎日30分間、自宅でもピアノの練習をしました。1か月で何時間何分、ピアノを弾いたことになりますか。

③ Aさんの誕生日はBさんの誕生日の15日前です。  
Cさんの誕生日はBさんの誕生日の13日後です。  
Aさんの誕生日からCさんの誕生日まで、何日間ありますか。

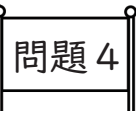






にちれきざん

# 日歴算



問題4 つぎの問いに答えなさい。

① 2024年5月1日から800日目は、何月何日ですか。

② 2024年3月1日から2030年5月1日まで何日間ありますか。



中学受験プリントダウンロード

受験テキスト

© 受験テキスト

